

## 冬期間における家庭ごみ収集の対応状況について

### 1 通常の冬期間における対応

市民の生活環境の確保を基本としながら、収集作業の安全確保を最優先とする考えの下、

- 町会等と調整の上、ごみの排出・収集が困難となる一部の収集場所を休止
- 委託業者から報告される収集状況に応じた清掃工場等の受入時間の延長など、状況に応じ対応。

### 2 今冬における対応状況

今冬においては、道路状況の悪化が顕著となった1月以降、

- 委託業者からの収集状況の報告を踏まえた清掃工場等の受入時間の延長（最大19時迄）
- 収集作業に支障が生じている箇所について、関係部局と随時情報共有
- 収集が困難な地域について、町会等の理解を得た上で収集日の後ろ倒し対応など、作業員の安全を第一としながら、可能な限り収集の継続に努めた。

### 3 今後の対応

家庭ごみ収集の委託業者からは、豪雪時における収集体制に関する協議の場の設置のほか、収集困難な場合の対応やスタック時の救援体制、さらには、冬期間における収集場所の集約化などの要望が寄せられている。

本市では、今冬の状態を踏まえ、市民の生活環境の安定確保はもとより、作業員の安全を確保しながら、持続可能な収集運搬体制が確保できるよう、委託業者をはじめ、町会等の皆様や関係部局と協議・連携しながら、豪雪時における状況に応じた収集運搬体制や情報共有の在り方等について検討していく。

#### 《 参考 》

○事前に町会等の了承を得た上で、収集日の後ろ倒し対応を行った町会数(延べ)

ごみ区分	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	計
1月29日	1町会	0町会	0町会	1町会
2月2日～2月13日	46町会	13町会	48町会	107町会
計	47町会	13町会	48町会	108町会

なお、収集日を後ろ倒しした日数は、おおむね4日である。